町制施行70周年記念　茨城町民の日式典　あいさつ



茨城町長　**小林　宣夫**

本日、多くのご来賓をお迎えし、「町制施行70周年記念　茨城町民の日式典」を挙行できますことは、誠に喜びに堪えないところであり、心から厚く御礼を申し上げます。

本町は、昭和30年２月11日に旧長岡村、川根村、上野合村、沼前村の四村が合併して町制が施行されました。続いて昭和33年に旧石崎村が編入合併して現在の茨城町が形成され、以来、一歩ずつ発展の道のりを歩み続けて、70周年という大きな節目を迎えることができました。

さて、茨城町という名称は、70年前に公募で決定されたものです。そこには、「茨城県の中央に位置し、将来の発展に向けて、県下第一の代表的な町として、長く存続繁栄するように」という思いが込められておりました。この名に託された期待と決意を、今日までの70年間、しっかりと継承し、町の発展を成し遂げてこられた先人たちに、深く敬意を表したいと思います。

70年の歩みは決して平坦な時ばかりではありませんでした。幾多の自然災害や社会経済情勢の激しい変化など、時代の荒波にもまれ、困難に直面し、その都度町民が一丸となって、知恵をしぼり、汗を流し、努力を重ねて乗り越えてきたのであります。

平成の大合併の時にも、茨城町は自立の道を選択し、強い誇りと自負をもって、行き詰まった町の財政を立て直し、独自の発展を続けてくることができました。これも偏に町民の皆様のご協力とご支援の賜であり、ここにあらためて、心から御礼を申し上げたいと思います。

現在、わが国は急激な人口減少という未曾有の困難に直面しており、茨城町も決して例外ではありません。しかしながら、茨城町には、これを乗り越えていくための素晴らしいポテンシャルがあります。それを最大限に生かしながら、知恵を出し、情熱を持って、町民の皆様が安心して暮らせる町をつくるために、各種施策を総動員して、全力で取り組んでいるところであります。

基幹産業である農業については、米作農家が急速に減少する中、農地の集約化を推進し大規模経営に適した圃場をつくるため、国・県の事業を導入し、土地改良事業に取り組んでおり、さらには、メロンや飯沼栗、常陸牛をはじめ全国に誇る高品質な農畜産物のブランド力強化や付加価値向上に向けた新たな取り組みにも挑戦しています。一方、工業団地への企業誘致を推進して産業の育成にも取り組み、併せて、地場産業の発展に欠かすことのできない交通インフラの整備についても、国や県と連携した道路整備を積極的に進めて、広域交通ネットワークを広げながら、生活インフラの整備にも力を入れているところであります。

また、少子化時代に対応して、結婚から妊娠、出産、子育てや教育まで、子どもの成長段階に合わせた切れ目のない、きめ細かな支援策を展開するとともに、高齢者福祉の充実及び諸証明の交付などＤＸ導入を積極的に進めて、デジタル時代にふさわしい町づくりに努めています。

さらに、ラムサール条約登録湿地として世界からその重要性が認められている涸沼についても、涸沼水鳥・湿地センターの整備や涸沼自然公園の魅力アップに取り組み、雄大な自然と生物多様性という町の魅力や資源を生かした交流人口の拡大を図っているところであり、さらには、人口減少社会を賢く生き残っていくための新しい取り組みも進めて行きたいと考えています。

今日、町制施行70周年という節目を迎えましたが、これはゴールではなく、未来へと続く新たな出発点であります。あらためて町民の皆様の努力と献身に感謝し、次なる世代へと続く町の未来に向けて、皆様とともに歩み続けてまいりたいと考えています。

最後になりましたが、本日ご臨席を賜りました皆様をはじめ、これまで茨城町の発展にご尽力をいただいた方々に感謝申し上げますとともに、すべての町民の皆様のますますのご健勝とご多幸を祈念してごあいさつといたします。

町制施行70周年記念　茨城町民の日式典に寄せて



茨城町民の日（町制施行70周年記念）実行委員会委員長　**海老澤　貞雄**

本日ここに、「町制施行70周年記念　茨城町民の日式典」を挙行するにあたり、実行委員会を代表し、ごあいさつを申し上げます。

茨城町が昭和30年の町制施行以来、70年という大きな節目を迎えることができましたのは、本町の発展に尽力された先人の皆様をはじめ、町民の皆様、関係各位の長年にわたるご尽力とご支援によるものであり、心より感謝を申し上げます。

この70年の歩みの中では、社会情勢の大きな変化や幾多の困難を乗り越えながら、豊かな自然環境と歴史・文化を大切に守り育て、魅力あるまちづくりが着実に進められてまいりました。

さて、「茨城町民の日」とは、昭和30年２月11日の町制施行を記念し、同日を「町民が、郷土茨城町について理解と関心を深め、町民であることを誇りに思う心と町民としての一体感をはぐくみ、より豊かで魅力ある町を築きあげることを期する日」と定めたものでありますが、今回の記念式典は、茨城町文化交流会館「いばＳＵＮホール」の開館にあわせて開催しているところであります。

本日の式典プログラムの内容でございますが、長年にわたり町政の様々な分野でご活躍され、本町の発展に大きくご貢献いただいた皆様への表彰式を執り行います。受賞されます皆様に心よりお祝いを申し上げますとともに、そのご功績とこれまでのご尽力に深く敬意を表します。

また、70周年記念アトラクションといたしまして、伝統芸能の魅力を今に伝える淡路人形座の皆様による「淡路人形浄瑠璃」をご鑑賞いただきます。長い歴史の中で受け継がれてきた文化に触れていただくことで、本町の節目を祝うにふさわしい、心に残るひとときになれば幸いに存じます。

この記念式典が、茨城町の70年の歩みを振り返り、先人の皆様のご功績に感謝するとともに、町民の皆様がふるさと茨城町への誇りと愛着をより一層深め、次の時代へ希望をつなぐ契機となることを願っております。

結びに、ご臨席の皆様のますますのご健勝とご多幸、そして茨城町のさらなる発展をご祈念申し上げるとともに、本日の式典が実り多いものとなりますことを心よりお祈り申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

町制施行70周年記念　茨城町民の日式典　祝辞



茨城町議会議長　　久保田　良一

本日ここに、「町制施行70周年記念　茨城町民の日式典」が、このように盛大に挙行されますことを、町議会を代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。

また、ご来賓の皆様には、ご多用の中ご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

茨城町は、昭和30年の町制施行以来、70年にわたる歩みを重ねてまいりました。この間、戦後復興から始まり、高度経済成長、バブル崩壊後の長期にわたる経済の低迷、東日本大震災からの復興、さらには新型コロナウイルス感染症への対応など、時代の大きな変化と幾多の困難を経験してまいりました。

しかし、そのような試練の中にあっても、一歩一歩着実に歩みを重ね、本日の輝かしい節目を迎える礎が築かれました。この輝かしい70年の歩みは、歴代町長をはじめ、町政の発展にご尽力いただいた多くの皆様の英知とたゆまぬご努力の賜物であります。ここに、衷心より感謝と敬意を表する次第であります。

私たちの町には、全国に誇る豊かな自然があります。ラムサール条約湿地にも登録されている涸沼の美しい景観、四季折々の表情を見せる里山や田園風景、そして肥沃な大地が育む豊かな実りは、先人の皆様から受け継いだかけがえのない財産であります。この豊かな自然と都市機能が調和した住みよい環境こそが、茨城町の大きな魅力であり、次の時代へとつながる力の源泉であると確信しております。

そして、この70周年記念の節目に、東日本大震災により被災した中央公民館に代わる新たな文化・交流の拠点として整備された、茨城町文化交流会館「いばＳＵＮホール」が開館いたします。この素晴らしい施設が、世代を超えた町民の皆様の笑顔であふれ、芸術・文化の振興はもとより、人と人との交流を深め、新たな地域の絆を育む場となることを心から期待しております。

本日の70周年記念式典は、これまでの歩みを振り返るとともに、新たな未来への出発点でもあります。町議会といたしましても、町民の皆様の負託に真摯に応え、行政と力を合わせながら、誰もが安心して心豊かに暮らし続けられるまちづくりの実現に向け、責務を果たしてまいる所存であります。

結びに、茨城町のさらなる飛躍とご発展、本日ご列席のご来賓各位並びに町民の皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

町制施行70周年記念
茨城町民の日式典プログラム

【日時】　令和８年９月６日（日）　午後０時45分から
【会場】　茨城町文化交流会館「いばＳＵＮホール」

【オープニングアトラクション】

茨城町指定無形民俗文化財「ひょっとこ囃子」
～小幡ひょっとこ囃子保存会～

茨城町70年のあゆみ

【第１部】記念式典

1　開式のことば
2　町長式辞
3　実行委員長あいさつ
4　町議会議長祝辞
5　来賓祝辞
6　来賓紹介
7　祝電披露
8　町民憲章唱和
9　茨城町表彰式
10　閉式のことば



【第２部】70周年記念アトラクション

国指定重要無形民俗文化財「淡路人形浄瑠璃」
～淡路人形座～

茨城町 受賞者・功績者紹介



功労褒賞

（敬称略・順不同）

自治功労部門

氏　名	表彰内容
海老澤（えびさわ） 貞雄（さだお）	区長として、行政の振興に尽力されている。
加藤（かとう） 守（まもる）	区長として、行政の振興に尽力されている。
田山（たやま） 稔（みのる）	区長として、行政の振興に尽力されている。
萩谷（はぎや） 光保（みつやす）	区長として、行政の振興に尽力されている。
緒方（おがた） 惟則（これのり）	区長として、行政の振興に尽力された。
安島（あじま） 晃（あきら）	区長として、行政の振興に尽力された。
(故)中村（なかむら） 平治（へいじ）	区長として、行政の振興に尽力された。
栗山（くりやま） 正美（まさみ）	区長として、行政の振興に尽力された。
(故)髙野（たかの） 肅（すすむ）	区長として、行政の振興に尽力された。
飯田（いいだ） 要夫（としお）	広報委員会委員として、町の広報活動に尽力されている。
別所（べっしょ） 直紀（なおのり）	広報委員会委員として、町の広報活動に尽力されている。
渡邉（わたなべ） 忍（しのぶ）	広報委員会委員として、町の広報活動に尽力されている。
吹野（ふきの） 久美子（くみこ）	広報委員会委員として、町の広報活動に尽力された。
石井（いしい） 敏幸（としゆき）	行政相談委員として、町民と行政の橋渡し役として尽力された。
小野（おの） 高士（たかし）	統計調査員として、長年にわたり統計調査事業に尽力されている。
米川（よねかわ） 操（みさお）	統計調査員として、長年にわたり統計調査事業に尽力されている。
小林（こばやし） 雄三（ゆうぞう）	固定資産評価審査委員会委員として、町の発展に尽力されている。
細谷（ほそや） 丈夫（たけお）	固定資産評価審査委員会委員として、町の発展に尽力された。
小室（こむろ） 晶（あきら）	都市計画審議会委員として、都市計画に関する施策の審議に尽力されている。
冨山（とみやま） 竹次（たけじ）	農業委員会委員として、農業の維持発展に尽力された。



茨城町 受賞者・功績者紹介

功労褒賞

（敬称略・順不同）

治安・防災功労部門

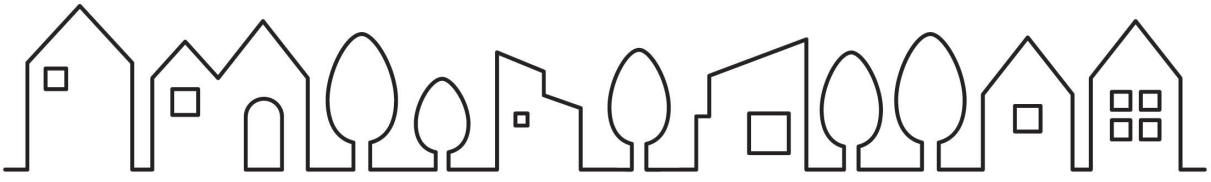
氏　名	表彰内容
藤枝（ふじえだ）　道明（みちあき）	水戸地区交通安全協会茨城支部に在籍し、地域の交通安全活動に尽力された。
會沢（あいざわ）　勇夫（いさお）	水戸地区交通安全協会茨城支部に在籍し、地域の交通安全活動に尽力された。
（故）林（はやし）　武雄（たけお）	水戸地区交通安全協会茨城支部に在籍し、地域の交通安全活動に尽力された。
石塚（いしつか）　雅子（まさこ）	茨城町交通安全母の会上野合支部に在籍し、地域の交通安全活動に尽力された。
柴沼（しばぬま）　利雄（としお）	水戸地区防犯連絡員協議会茨城支部に在籍し、地域の防犯活動に尽力された。
道川（みちかわ）　稔久（としひさ）	水戸地区防犯連絡員協議会茨城支部に在籍し、地域の防犯活動に尽力された。
上田（うえた）　智夫（としお）	水戸地区防犯連絡員協議会茨城支部に在籍し、地域の防犯活動に尽力された。

民生・福祉功労部門

氏　名	表彰内容
小川（おがわ）　伊勢子（いせこ）	民生委員・児童委員として、社会福祉の向上に尽力されている。
山中（やまなか）　平（たいら）	民生委員・児童委員として、社会福祉の向上に尽力されている。
髙安（たかやす）　テル子（こ）	民生委員・児童委員として、社会福祉の向上に尽力された。
山根（やまね）　靖子（やすこ）	介護認定審査会委員として、介護保険事業の推進に尽力されている。
渋谷（しぶや）　幸子（さちこ）	介護認定審査会委員として、介護保険事業の推進に尽力されている。
久保田（くぼた）　香織（かおり）	介護認定審査会委員として、介護保険事業の推進に尽力されている。

産業・経済功労部門

氏　名	表彰内容
茨城県信用組合（いばらきけんしんようくみあい） 理事長　幡谷（はたや）　礼二郎（れいじろう）	町内産農産物の販路拡大と魅力発信に尽力され、農業振興及び地域活性化に貢献されている。



茨城町 受賞者・功績者紹介



功労褒賞

（敬称略・順不同）

教育・文化功労部門

氏　名	表彰内容
緒方憲一（おがたけんいち）	学校医として尽力されている。
堀越伊知郎（ほりこしいちろう）	学校医として尽力されている。
(故)髙橋燦吉（たかはしさんきち）	教育委員会評価委員会委員として教育委員会事務の点検・評価に尽力された。
青木いづみ（あおきいづみ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
奥谷利一（おくやとしかづ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
林あけみ（はやしあけみ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
藤枝安子（ふじえだやすこ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
小堤由美子（おづつみゆみこ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
河野昭夫（かわのあきお）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
永峯恵美子（ながみねえみこ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
小林一裕（こばやしかづひろ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
奥谷紀子（おくやのりこ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
坂本孝一（さかもとこういち）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
萩谷としの（はぎやとしの）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
皆川里美（みなかわさとみ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
森田うめ（もりたうめ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
渡辺奈緒子（わたなべなおこ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力されている。
菊地茂光（きくちしげみつ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力された。
吉川ゆみ子（よしかわゆみこ）	ブライト・リーダーとして教育振興のために尽力された。
寺山勝衛（てらやまかつえい）	社会教育委員として、社会教育推進に尽力された。
松山美子（まつやまよしこ）	社会教育委員として、社会教育推進に尽力された。
清水正三（しみずまさみ）	文化財保護審議会委員として、教育文化の進展に貢献されている。
中村敬治（なかむらけいじ）	文化財保護審議会委員として、教育文化の進展に貢献されている。
石田富歳（いしだふさい）	文化財保護審議会委員として、教育文化の進展に貢献されている。



茨城町 受賞者・功績者紹介

功労褒賞

（敬称略・順不同）

教育・文化功労部門

氏　名	表彰内容
海老原（えびはら） 洋子（ようこ）	スポーツ推進審議委員として、スポーツの振興に寄与されている。
林（はやし） 孝和（たかかず）	スポーツ推進審議委員として、スポーツの振興に寄与されている。
上野（うえの） 広之（ひろゆき）	スポーツ推進委員として、スポーツの振興に寄与されている。
入之内（いりのうち） 重徳（しげのり）	スポーツ推進委員として、スポーツの振興に寄与されている。
鬼澤（おにざわ） 邦明（くにあき）	スポーツ推進委員として、スポーツの振興に寄与されている。
髙野（たかの） 正（ただし）	スポーツ推進委員として、スポーツの振興に寄与されている。
松本（まつもと） 三芳（みよし）	スポーツ推進委員として、スポーツの振興に寄与されている。
東ヶ﨑（とうがさき） みどり	スポーツ推進委員として、スポーツの振興に寄与されている。
長洲（ながす） 圭一（けいいち）	スポーツ推進委員として、スポーツの振興に寄与されている。
栗原（くりはら） 広美（ひろみ）	スポーツ推進委員として、スポーツの振興に寄与されている。
藤枝（ふじえだ） 貴司（たかし）	スポーツ推進委員として、スポーツの振興に寄与されている。
三森（みもり） 茂喜（しげき）	スポーツ推進委員として、スポーツの振興に寄与されている。
田口（たぐち） 生恵（いくえ）	スポーツ推進委員として、スポーツの振興に寄与されている。
石﨑（いしざき） 政雄（まさお）	青少年相談員として青少年健全育成活動に尽力されている。
髙安（たかやす） 仁文（よしふみ）	青少年相談員として青少年健全育成活動に尽力されている。
米川（よねかわ） 純子（じゅんこ）	青少年相談員として青少年健全育成活動に尽力されている。
坂葉（さかば） 好康（よしやす）	青少年相談員として青少年健全育成活動に尽力されている。
鈴木（すずき） 衛（まもる）	青少年相談員として青少年健全育成活動に尽力されている。
木村（きむら） 雅道（まさみち）	青少年相談員として青少年健全育成活動に尽力されている。
外山（とやま） 順啓（のぶよし）	青少年相談員として青少年健全育成活動に尽力されている。

地域魅力発信功労部門

氏　名	表彰内容
マシコタツロウ	楽曲制作等を通じて、町の魅力発信に貢献されている。

茨城町 受賞者・功績者紹介



善行褒賞

（敬称略・順不同）

地域善行部門

氏　名	表彰内容
海老澤（えびさわ）　厚（あつし）	道路沿いのごみ拾いや共同のごみ集積所の清掃等に尽力されている。
岸本（きしもと）　雅美（まさみ）	東永寺高年者クラブ会長を務めるとともに、様々な事業を実施し、地域の交流を推進されている。
北村（きたむら）　透（とおる）	コミュニティ形成の場となる行事の企画や区への寄附、ボランティア活動への積極的な参加により地域社会に貢献されている。
関根（せきね）　敏政（としまさ）	大戸さくら公園のライトアップや区全域の見守りに尽力されている。
廣岡（ひろおか）　勝意（かつい）	区内の公園、公民館および道路の除草や立木の伐採、ごみ拾い清掃等に尽力されている。
植農（うえの）区（く）	地域活性化を目的として区全体で新たな事業に取り組み、活力あるまちづくりの実現に寄与されている（ふるさと元気づくり推進事業）。
前田第一区（まえだだいいちく）	地域活性化を目的として区全体で新たな事業に取り組み、活力あるまちづくりの実現に寄与されている（ふるさと元気づくり推進事業）。
明光台団地区（めいこうだいだんちく）	地域活性化を目的として区全体で新たな事業に取り組み、活力あるまちづくりの実現に寄与されている（ふるさと元気づくり推進事業）。
奥谷（おくのや）区（く）	地域活性化を目的として区全体で新たな事業に取り組み、活力あるまちづくりの実現に寄与されている（ふるさと元気づくり推進事業）。
五里峰（ごりみね）区（く）	地域活性化を目的として区全体で新たな事業に取り組み、活力あるまちづくりの実現に寄与されている（ふるさと元気づくり推進事業）。
城之内（じょうのうち）区（く）	地域活性化を目的として区全体で新たな事業に取り組み、活力あるまちづくりの実現に寄与されている（ふるさと元気づくり推進事業）。
上雨ヶ谷（かみあめがい）区（く）	区全体で新たな事業に取り組み、活力あるまちづくりの実現に寄与されている（ふるさと元気づくり推進事業）。また、町道の草刈りや枝払等に尽力されている。
下座（げざ）区（く）	町道の草刈りや枝払等に尽力されている。
中石崎（なかいしざき）区（く）	町道の草刈りや枝払等に尽力されている。
下石環境保全会（しもいしかんきょうほぜんかい）	町道の草刈りや枝払等に尽力されている。
前田（まえだ）さわやか楽級（がっきゅう）	地域の活性化に尽力されている。
クリーンアップひぬまネットワーク	自然環境保全活動に尽力されている。
青山（あおやま）　和行（かずゆき）	町の発展のため、公園用木製ベンチを寄贈された。
浅野（あさの）　暢晴（のぶはる）	町の発展のため、彫刻作品を寄贈された。
金敷（かなしき）　博文（ひろぶみ）	町の発展のため、多額の寄附をされた。
茨城（いばらき）トヨペット株式会社 取締役会長　幡谷（はたや）　定俊（さだとし）	町の発展のため、桜の木等を寄贈された。
茨城（いばらき）ひぬまライオンズクラブ 会長　松野（まつの）　智幸（ともゆき）	町の発展のため、公共施設用ベンチ等を寄贈された。
株式会社石崎商店（いしざきしょうてん） 代表取締役　石崎（いしざき）　稔（みのる）	町の発展のため、お米を寄贈された。
株式会社常陽銀行（じょうようぎんこう） 取締役頭取　秋野（あきの）　哲也（てつや）	町の発展のため、来庁者用椅子等を寄贈された。
株式会社誠文堂新光社（せいぶんどうしんこうしゃ） 代表取締役　中川（なかがわ）　慎司（しんじ）	町の発展のため、多額の寄附及び多数の図書資料を寄贈された。
株式会社関根電気（せきねでんき） 代表取締役　関根（せきね）　敏政（としまさ）	町の発展のため、多額の寄附及びLED照明器具等を寄贈された。
日東電気（にっとうでんき）株式会社 取締役会長　阿部（あべ）　真也（しんや）	町の発展のため、絵画の寄贈をされた。
橋本畜産（はしもとちくさん）株式会社 代表取締役　橋本（はしもと）　武二（たけじ）	町の発展のため、多額の寄附をされた。



茨城町 受賞者・功績者紹介

いばらきまち三世代同居家族賞

（敬称略・順不同）

氏名			住所
小川 清	小川 啓之	小川 歩夢	長岡
小川 國枝	小川 恵美子	小川 千雅	
中村 博	中村 正弘	中村 航	上石崎
中村 道子	中村 雅子	中村 香澄	

令和６年・令和７年 叙勲・褒章受章者

（敬称略：内閣府発表順に掲載）

受章内容	氏名	住所	功労概要
令和６年春の叙勲 瑞宝小綬章	川澄 重喜	小幡	検察官功労（元　水戸区検察庁副検事）
令和６年春の叙勲 瑞宝単光章	飯山 幸一	秋葉	消防功労（元　茨城県茨城町消防団団長）
令和６年秋の叙勲 瑞宝単光章	印出井 利美	小鶴	消防功労（元　茨城県茨城町消防団副団長）
令和６年秋の叙勲 瑞宝単光章	佐川 朋美	下土師	看護業務功労（元　茨城県立こころの医療センター看護局長）
第43回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章	吉岡 誠	小幡	防衛功労（元　３等空尉）
令和６年秋の褒章 藍綬褒章	大山 公夫	下飯沼	更生保護功績（元　保護司）
令和６年秋の褒章 藍綬褒章	田所 久枝	下石崎	矯正教育功績（元　篤志面接委員）
高齢者叙勲 瑞宝双光章	齊藤 親賢	海老沢	教育功労（元　公立小学校長（茨城県））
高齢者叙勲 瑞宝双光章	上野 修	長岡	教育功労（元　公立中学校長（茨城県））
第44回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章	柴沼 節	野曽	警察功労（元　茨城県警部）
令和７年秋の叙勲 瑞宝単光章	磯邉 裕行	大戸	矯正業務功労（元　法務教官）
第45回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章	飯塚 正美	長岡	警察功労（元　茨城県警視）
第45回危険業務従事者叙勲 瑞宝双光章	江幡 康二	駒場	警察功労（元　茨城県警部）
第45回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章	奥谷 利雄	奥谷	防衛功労（元　３等空尉）
第45回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章	髙橋 英雄	前田	警察功労（元　茨城県警部）
第45回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章	鶴町 浩一	小鶴	警察功労（元　茨城県警部）
第45回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章	細谷 幸雄	駒渡	警察功労（元　茨城県警部補）
第45回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章	堀田 忠信	宮ヶ崎	警察功労（元　茨城県警部）
第45回危険業務従事者叙勲 瑞宝単光章	米川 和成	小幡	警察功労（元　茨城県警部）
令和７年秋の褒章 藍綬褒章	東ヶ﨑 道男	大戸	更生保護功績（現　保護司）

オープニングアトラクション

茨城町指定無形民俗文化財「ひょっとこ囃子」
～小幡ひょっとこ囃子保存会～



「ひょっとこ囃子」は、小幡区に古くから伝わる郷土芸能で、その起源は戦国時代にまでさかのぼると伝えられています。小幡城主が愛宕神社の祭礼の際、領民に囃子を演じさせたことが始まりとされ、今日まで地域の人々によって大切に受け継がれてきました。

「ひょっとこ」「おかめ」「きつね」などの面をつけた舞手が、「長胴（ながどう）」「小太鼓」「笛」「鉦（かね）」の軽快なお囃子に合わせて舞う姿は、ユーモアと躍動感にあふれ、見る人を魅了しています。

この貴重な伝統芸能を後世へ継承するため、昭和元（1926）年に「小幡ひょっとこ囃子保存会」が設立されました。昭和46（1971）年には、お囃子として町内で初めて町の無形民俗文化財の指定を受けるなど、その歴史的・文化的価値は高く評価されています。

そして令和８（2026）年、保存会は設立100周年という記念すべき節目を迎えました。

先人たちが守り育ててきた郷土芸能を受け継ぎ、地域の誇りある文化として次の世代へ伝えていくため、これからも保存・継承活動に努めるとともに、その魅力を広く発信してまいります。

70周年記念アトラクション

国指定重要無形民俗文化財「淡路人形浄瑠璃」
～淡路人形座～



戎舞より

淡路人形浄瑠璃は、室町時代後期、西宮神社に仕えていた傀儡師（くぐつし）が淡路の三條村に来て、人形操りを教えたことが始まりだと伝えられています。江戸時代前期から西日本を中心に各地を巡業し、浄瑠璃文化を地方に広めたとされています。

昭和51（1976）年には、「郷土の古典芸能を守ろう」という気運の高まりとともに、喜怒哀楽を情緒豊かに表現する舞台芸術が高く評価され、国の重要無形民俗文化財に指定されました。

昭和39（1964）年に発足した淡路人形座は、260年以上の歴史を誇る吉田傳次郎座の道具類を引き継ぎ、何世代もの人々の創意工夫が重ねられ受け継がれた人形浄瑠璃を上演しています。

常設館での公演をはじめ、国内外への出張公演、学校への出張講座、小・中学校、高校、子供会活動の後継者団体への指導、全国の伝統芸能人形芝居保存会への協力など、人形浄瑠璃の普及・発展のための活動に積極的に取り組んでいます。

茨城町民憲章

わたくしたちは、美しい自然と、豊かな大地にはぐくまれて、限りない躍進をつづける茨城町の仲間です。美しく愛に満ちた郷土づくりに、責任と誇りをもって参加するため、ここに町民憲章を定めます。

1　ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
1　からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
1　隣人や家庭の愛を大切にして、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
1　自分の仕事に責任と誇りをもち、活気に満ちた町をつくりましょう。
1　文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

茨城町民の日条例

(趣　旨)

第１条　町民が、郷土茨城町（以下「町」という。）について理解と関心を深め、町民であることを誇りに思う心と町民としての一体感をはぐくみ、より豊かで魅力ある町を築きあげることを期する日として、町民の日を定める。

(町民の日)

第２条　町民の日は、２月11日とする。

(町の行事等)

第３条　町は、町民の日を中心として、町民参加のもとに、町民の日にふさわしい行事を行うものとする。

(附　則)

この条例は、平成21年10月１日から施行する。

茨城町民の日（町制施行70周年記念）実行委員会委員

委員長：海老澤　貞　雄　　副委員長：田山　稔

委　員：久保田　良　一　　寺　門　早　苗　　箭　原　和　敏　　関　根　敏　政
坂　場　克　身　　小田部　　哲　　坂　場　知　子　　海老澤　信　子
檜　山　太　一　　田　口　生　恵